

フラワーアレンジ 特別支援校生挑戦

松 崎

県内の技能士がものづくりの楽しさを伝える県の事業「WAZAチャレンジ教室」が1日、松崎町の東部特別支援学校伊豆松崎分校で開かれた。生徒18人がフラワーアレンジメントに挑戦した。

フラワー装飾技能士4人が講師を務めた。

生徒は「花をつぶさないように優しくつかん

で」「高さや全体のバランスを考えて」などと指導を受け、正方形の器に入れたスポンジ

にカーネーションやガーベラなど6種類の花を生けた。球形のキク「ピンボンナム」には紙や針金などの装飾を施し、花畑のハチをイメージした作品に仕上げた。



フラワーアレンジメントに挑戦する生徒

|| 松崎町の東部特別支援学校伊豆松崎分校

フラワーアレンジメントに挑戦

「蜂飛ぶ花畑」描く

東部特支校
松崎で教室

国家資格持つ。プロ指導



講師に教わりながら「蜜蜂が飛ぶ花畑」をイメージした花の装飾に取り組む生徒たち＝東部特別支援学校伊豆松崎分校

県は1日、県立東部特別支援学校伊豆松崎分校で、ものづくりの楽しさを生徒たちが学ぶ「WAZA(わざ)ふ」に挑戦した。

県技能士会連合会から、フラワー装飾技能の国家資格を有する「花のプロ」4人が来校。黄色のピンポムやピンク色のガーベラ、スプレーカーネーションを用い、生徒が「蜜蜂が飛ぶ花畑」をテーマに創作した。

一人がオリジナルの作品を仕上げた。熱心に取り組む生徒たちのテーブルを、講師らが順番に回りなが

ら「花の高さや器とのバランスを考えると、より美しくなる」などとアドバイスした。

伊豆新聞

12月2日